

令和元年度			
学校自己評価 教職員アンケート集計結果			
重点目標	具体的目標	具体的対策	評価
① 社会において、必要な素養や基礎力を身につけた生徒を育成する。	・学習意欲の向上を図り、積極的な学習態度を育成するための学習環境の整備する。	・成績不振者に対する指導を徹底し、学年末の欠点科目保有者をなくす。	3.0 B
		・視聴覚機器の積極的な利用を促進する。	
		・検定試験受験及び資格取得を奨励する。	
	・規律ある生活習慣と規範意識の確立する。	・保護者と連携を図り、継続的に指導を行う。 ・共通理解に基づき、統一した指導を行う。	3.0 B
② 生徒の進路実現達成100%を達成する。	・啓発学習や体験学習により進路啓発意識を高め希望進路の実現を図る。	・職業観や勤労観を育てるためにインターンシップや企業説明会への積極的参加を促す。	3.1 B
		・早期の進路意識啓発のため、講演会の実施や指導の充実を図る。	
		・学年等との連携により小論文や面接指導を充実させ個々のレベルアップを図る。	
③ 学校全体で諸活動の活性化を図り、活気ある学校をつくる。	・生徒主導の生徒会活動を目指す。	・学校行事(体育祭・稲穂祭)の充実を図るため、生徒の意見を取り入れた生徒主導の企画・運営を行う ・全員参加方の取組みを増やすことでクラブ員の積極的参加を促し、全国大会入賞率を高める。	2.9 B
	・部活動の活性化を図る。	・部活動への参加率を高める取組みを積極的に行い、部活動の活性化と上位大会出場クラブの増加を目指す。	
④ 農業の専門高校として教育内容を一層充実させ、職業人として社会に貢献できる人材の育成を図る。	・地域の課題を見つけ、「課題研究」等により課題育解決できる能力を育成する。	・地域農業の現状及び課題を把握するために就業体験や実技指導、講習会を実施する。	3.0 B
		・地域の課題を見つけ、「課題研究」等により課題解決できる能力を育成する。	
		・農業における知識と技術を身につけた人材育成を目指し、各種検定合格や資格取得の増加を図る。	
			総合評価
改善すべき点等			B
カリキュラム・マネジメントの充実			
職員の横のつながりの強化			
体育系部活動の活性化			
自らの専門性の向上と発進力の強化			
視聴覚機器を利用する機会を増やす			